

## 2018年西日本豪雨におけるクライシスマッピング活動の現状 State of the Crisis Mapping for heavy rain in west of Japan, 2018.

\*古橋 大地<sup>1</sup>

\*Taichi Furuhashi<sup>1</sup>

1. 青山学院大学

1. Aoyama Gakuin University

2018年7月上旬に西日本を中心に発災した平成30年7月豪雨災害では、岡山県倉敷市の真備町をはじめ、多くの地域で洪水、浸水、土砂災害による被害が発生し、その全容の把握には一定の時間が必要とされた。災害時における迅速な被災地の地図作りを市民参加型のボランティアな地理情報(VGI)として実施するクライシスマッピング活動に学生らと取り組み、現地ボランティアと連携し、混乱状態にある道路状況を加味した支援車両向けルートマップや、避難所・仮設トイレ設置場所等を地図上に展開し逐一更新した。未来の大災害に備え、クライシスマッピングの一般化に向けた現状の課題と今後の方向性について報告を行う。

キーワード : GIS、VGI、map

Keywords: GIS, VGI, map

